

台湾基督長老教会 相互に支援感謝

県庁訪問

2021年7月の熱海市伊豆山での土石流災害で県に寄付をした台湾基督（キリスト）長老教会の関係者らが8日、県庁を訪れ、川勝平太知事を表敬した。

同教会は、日本が新型コロナウイルスのワクチンを台湾に提供したことなどを受けて、21年に義援金として2200万円を寄付。当時は渡航制限のために訪日できず代理人が寄付した。

今回は2月7～9日の日程で来日し、熱海市内の被災



記念品を交換した台湾関係者ら

＝8日午前、県庁

地も視察した。

台北駐日経済文化代表処横浜分処の張淑玲処長と同教会の彭志鴻副議長らが知事と面会し、彭副議長は「ワクチンなどで支援をいただき感謝する。日本は地理的に近く絆も深い国。一日も早い被災地の復興を願っている」と述べ、茶や記念品を贈った。川勝知事は「義援金をありがたく思う。困った時の友が本当の友人だ」と今後も交流の継続を求めた。